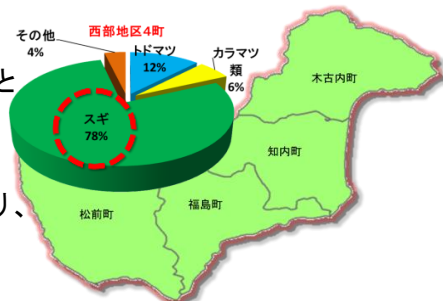


道南スギの利用拡大に向けた取組

渡島総合振興局西部森林室普及課 本田雅幸

道南スギの現状と課題

- ▶ 北海道の人工林面積約150万haのうち、スギは約2%（3万2千3百ha）となっており、ほとんどは渡島・檜山管内（3万2千1百ha）にあります。
- ▶ 渡島総合振興局西部森林室が管轄する渡島西部地区4町の一般民有林における人工林（1万5百ha）のうち、約8割（8千2百ha）がスギで、利用期を迎えている8齢級以上の林分が84%（6千9百ha）を占めており、地域の重要な資源となっています。
- ▶ 道内のスギ素材・製材の約8割は、道外へ出荷されており、道内におけるスギの需要は低い現状にあります。



地域で抱える道南スギ利用における問題点を整理すると

- ✓ 住宅建築などにおいて樹種へのこだわりがない
- ✓ 北海道にスギがあることの認知が不足している
- ✓ 道内でのスギ需要が少ない 等々

**道南スギの認知度向上と
地材地消の定着
が課題！**

課題解決に向けた取組

- ▶ 地域材利用の推進や地材地消の意識向上等を目的に、地域住民や製材・建築関係者等を対象に見学会や意見交換会を行いました。

松前中学校構造見学会
【開催日、場所：H26.2.23 松前町】



木質バイオマス地域利用見学会
【開催日、場所：H26.12.13 知内町】



道南スギに関する意見交換会
【開催日、場所：H26.8.23 知内町】



- ▶ 道南スギの認知度向上を目的に、普及PR活動を行いました。

道南スギパネル展
【開催日、場所：H26.9.4~5 道庁1階】



道南スギ住宅構造見学会
【開催日、場所：H26.10.17 江別市】



技術研修会
【開催日、場所：H27.3.12 渡島総合振興局】



今後の展開

- ▶ 道南スギの認知度向上と地材地消の定着に向けた取組は、今後も継続して行います。また、新たに木質バイオマスエネルギーとして、林地未利用材の有効利用も始まっていることから、木材の安定供給に向け、国有林や道有林と連携を図りながら取り組みます。
- ▶ **地域関係者が一体となって取り組むことが重要であり、取組を継続することで、道南スギの道内での需要拡大が期待されます！**

